

令和4年度奥州市施政方針(抜粋) 令和4年6月3日

本日ここに、令和4年第2回奥州市議会定例会の開会にあたり、令和4年度の市政運営の基本方針及び主要な施策について所信の一端を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

I はじめに

私は先の選挙におきまして、「市民に寄り添う市政」を新たな市政改革の旗印として掲げ、市民の皆様をはじめ各方面から多くのご支援をいただき、奥州市長の重責を担うこととなりました。私に寄せていただいた期待の大きさとその責任の重さに身の引き締まる思いであると同時に、市民の皆様に寄り添いながら、新しい奥州市を作り上げることに全力を注ぐ覚悟であります。

II 直面する課題と取組の決意

1 人口減少問題に対する基本的な考え方

さて、今の奥州市が直面している課題は数多くありますが、その最たるものは何でしょうか。私は、人口減少問題だと考えています。

奥州市の人口減少は、日本の平均よりも先行しており、国立研究所の将来推計によれば、2040年に約8万6千人にまで減少すると言われています。奥州市の消滅可能性を回避するため、子育て世代を始めとする生産年齢人口をいかに増やすか、これが最も大きな課題であります。

この解決に取り組むに当たり、私は、**三つの重要な視点**があると考えます。

一つ目は、

市民の健全な危機意識を醸成するということです。市民に現状を正しく伝え、市民が持つ潜在的な課題解決力を引き出すことが必要不可欠であります。

二つ目は、

今の時代に合った地域コミュニティをつくるということです。それぞれの地域がその特徴を活かして発展できる、そのような地域コミュニティづくりを促し、行政としてそれに寄り添うことが重要です。

三つ目は、

行政が支える領域を明確にし、財政支出の優先順位を付けるということです。その際の基本として、子育て世代を呼び込む施策が最も優先度の高い取組だと考えますし、あわせて、高齢者の住みやすい環境を整える施策にも配慮が必要だと考えております。

これらの視点をもって人口減少対策に取り組んでまいりますが、その**成果の指標**として、特に生産年齢人口に着目し、これを国立研究所の将来推計と比較して2030年には817人、1.6%の増、2040年には3,641人、8.4%の増にまで引き上げることを目標といたします。

2 市長直轄プロジェクトにより取り組む戦略プラン

この目標実現のためには、社会情勢の変化や技術革新に対応し、市政や地域のあり方も変えていかなければなりません。私は、このような変革を生み出すために、市長直轄のプロジェクトチームとして「寄り添う奥州会議プロジェクト」を立ち上げました。このプロジェクトの使命は、未来志向型の戦略プランを策定し、庁内横断的に関係部局と連携し、着実にプランの実現を図ること、そして、奥州市がどう変わっていくのかを市民の皆様にしかりと示すことであります。

具体的に今年度取り組む戦略プランの一つが、将来の奥州市医療体制のグランドデザインを描くことです。

市民が地域の中で安心して生活するためには、必要な時に受診できる医療施設があり、それらと、より高度で専門的な診療を受けられる高次医療施設との連携がしっかりとなされていることが必要です。

そのために、総合水沢病院、まごころ病院、前沢診療所、衣川診療所、及び衣川歯科診療所の5つの市立医療施設は維持します。その上で、民間医療施設及び県立病院と機能分化を図りつつ、迅速かつ適切に医療を行える地域医療ネットワークを構築していく必要があります。

また、課題となっている周産期医療体制については、県内の産科医不足や医師の働き方改革の動きを踏まえ、当面の間は現状の県南広域圏における周産期医療体制の中で「安心できる出産」を追求することが現実的なプランとなります。

市としては、これまで奥州市の周産期医療を支えていただいている産科医療機関との連携により、引き続き妊婦健診の実施等を進めるとともに、電子カルテ等を整備し、医療情報が正確に伝達できる仕組みを整えます。また、市立医療施設での産後ケア事業等を拡充させ、切れ目のない支援を目指します。

加えて、市外での出産となることから、緊急時の救急搬送体制の整備を図るなど、妊産婦が安心して安全に出産できるよう、市内産科医療機関及び、北上、一関の分娩医療機関と連携を図ってまいります。

これらの新たな医療体制の考え方については、奥州医師会や県立病院など関係者のご意見も伺いながら、それぞれの役割や連携の形を明確にしていきます。

特にも老朽化が著しい総合水沢病院については県立胆沢病院を補完する機能や感染症に対応できる機能に加え、医療のデジタル化を進めるためのデータセンター機能と、さきほど述べた周産期サポート機能を備えた病院として建て替えを検討し、年内を目途に複数案のプランを提示し、市民の皆様のご意見を頂戴したいと考えております。